

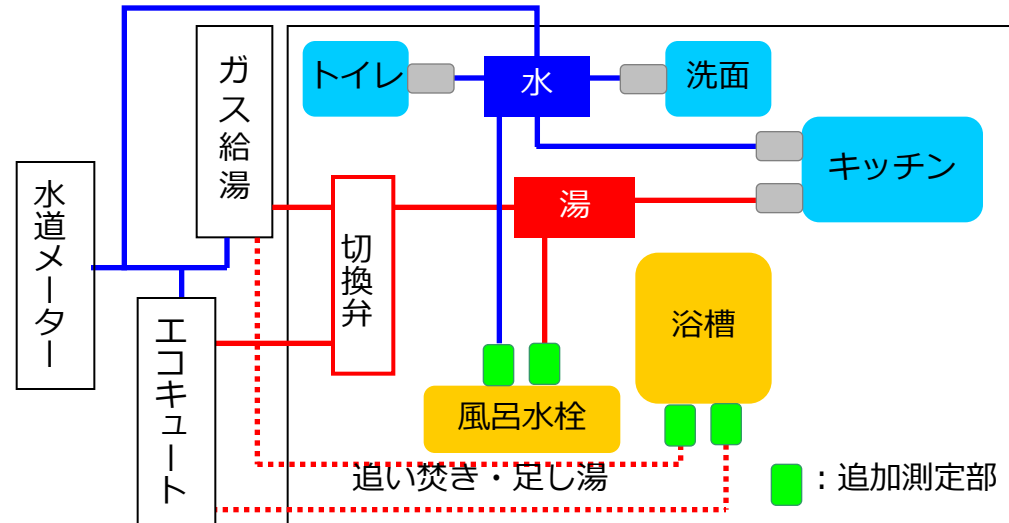
# 設備：水回りの見える化システム

キッチン・洗面・トイレに続き，風呂での個別使用湯水量の計測機器を設置し，家全体の湯水使用量の見える化システムを構築しました。

## ①湯水見える化の検証範囲拡大

- ・家全体の湯水使用量を把握するため，風呂での使用量を計測する。
- ・風呂の湯を『張る時』と『再加熱する時』の区別ができるか確認する。

→このため測定部を4箇所追加



## ②見える化端末の設置

- ・家中の水栓，トイレの湯水使用量を一覧化する。
- ・直感的に判りやすい表示の検討。

## 今後の課題

- ・節約箇所の明確化を省エネ行動へつなげる。

